

博物館と学芸員

を目指す



鱒浦海水浴場
1968**



流水突破水中水泳大会 1962



南4東2 屋台通り 1957*



網走南が丘高校甲子園出場 1967

レストラン盛陽軒 南3東1 戦前



清宮様
を歓迎
網走駅
1955*



網走熱帯植物園 緑町 1960



南4西1 十字街 1952*



札幌オリンピック聖火隊 1972
労働会館 現ソレイユ 1955*

AI が色づけした網走

東京農業大学学術情報課程
(オホーツクキャンパス)

白黒写真の自動色づけは下記のサイトによる
<http://hi.cs.waseda.ac.jp:8082>
<https://demos.algorithmia.com/colorize-photos/>
撮影者 *吉井波三 **佐古寛 他は市職員または不詳
写真はすべて網走市市史編さん室蔵

A I 技術は飛躍的な進歩を見せている。身近なところではスマホの予測変換や近年精度が向上したと話題の機械翻訳でその恩恵にあずかり、エアコンや冷蔵庫の温度制御にも用いられ快適な生活を助けている。ロボット掃除機や炊飯器にも使われているという。チェスや将棋のようなゲームではプロを凌駕し、長く人間が優位に立ってきた囲碁でも、2017年に世界トップ棋士に圧勝したことは記憶に新しい。近い将来には車の自動運転、医療の現場では画像診断を実現するだろう。すでにA I 技術は仕事や生活のすみずみに広がり、現代の暮らしを支えている。このほか、近年注目されているものとして白黒の写真への

自動色づけがある。モノクロの写真に色づけすることは最初期の方式であるダゲレオタイプで試行され、日本では外国人向けのみやげ品として販売されたいわゆる横浜写真に手作業で色づけされた彩色写真が数多く見られる。色づけされたものはプリントに限らず、像が写されたガラス板に着色したものもある。個人で楽しむだけでなく、人が集う幻灯会にも用いられたもののだろう。現在、写真への色づけはA I 技術を用い自動的にできるようになり、フィルムをデジタル化することで映像作品のカラー化まで可能となっている。インターネットには、無料の色づけサービスが複数用意されており、誰でも自由に利用できる。白黒の写真の色づけすると

生身の姿が現れる。白黒の写真ではまぼろしのような風景だったものが、色彩を帯びると実在を感じるようになる。威厳を持った歴史上の人物とと思っていた肖像が、隣近所のおじさんに見えてくるなど、色づけによって写真は生々しい現実感を得る。そしてそれを見た人びとは自分の体験を呼び起こすことにつながるという。もちろんA I が与えた色彩は100%の確度ではなく、同一の素材や模様でも色違いがある衣服の精確な再現は困難という。そして自動化された色づけを全面的に受け入れる必要もなく、呼び起こされた記憶から色や形を巡りさまざまな対話が生まれることこそが重要という。それを「記憶の解凍」と呼ぶ研究者もいる。

網走の写真に写し込まれたのは、多くの海水浴客が集う鱒浦海岸、現在では諸事情により開催不可能に思える流氷の海での寒中水泳大会、戦前のハイカラなレストラン、三輪トラックと馬車やボンネットバスが走る町並み、南が丘高等学校硬式野球部の甲子園出場に札幌オリンピックの聖火リレー、皇族を迎える網走駅、水族館より早くに消えた熱帯植物園、華やかだった労働会館などで、いまでは失われた町並みや建物も多い。共通するのは、にぎわいの様子である。これら貴重な写真を保存された網走市市史編さん室に敬意を表したい。未知なるものや新たな形を求めることは重要であるが、その実現には過去に拠り所を求めることもまた必要となる。写真に封じ込められた記憶が現在に語る言葉を読み取りたい。

平成30年度東京農業大学学術情報課程（オホーツクキャンパス）経過報告

1. 開講科目

科目名	単位	開講年次	担当教員	教科書
博物館概論	2	1年前期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館教育論	2	1年後期	西村一夫・宇仁義和	柴田義松編2003『新・教育原理』
博物館資料論	2	2年前期	渡部 裕	全博協西日本部会編2012『新時代の博物館学』
生涯学習概論	2	2年前期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館資料保存論	2	2年後期	渡部 裕	石崎武志2012『博物館資料保存論』
博物館展示論	2	2年後期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館情報論・メディア論	2	3年前期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館経営論	2	3年後期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館実習	3	3・4年通年	宇仁義和・渡部 裕	オリジナルプリント

2. 館園見学

学年	見学施設	分野	設置者・運営者・博物館法による区分
1年	博物館網走監獄	建築・歴史	私立・登録
1年	網走市立郷土博物館・モヨロ貝塚館	総合・考古	公立・登録
1年	北海道立北方民族博物館	民族・考古	公設民営・登録
2年	釧路市動物園	動物園	公立・類似
2年	釧路市立博物館	総合	公立・登録
2年	エコセンター2000	公民館	—
2年	網走市立美術館	美術	公立・登録
2年	足寄動物化石博物館	自然史	公設民営・類似
3年	網走市立郷土博物館丸万収蔵庫	産業史・民俗	公立・登録
3年	美幌博物館	総合	公立・登録
3年	旭川市科学館	科学館・プラネタリウム	公設民営・登録
3年	サッポロビール博物館	企業博物館	私立・類似
3年	北海道大学植物園・博物館	植物園・自然史	国立・相当
3年	オホーツク流水館	観光展示施設	公設民営・類似

* 9月に実施している札幌博物館見学旅行では、1日目夜に北海道胆振東部地震に遭遇した（5ページ参照）。幸い全員無事であったが、2日目以降の見学ができなくなった。代替措置として、冬休み期間中での自主見学を促し、入館料は1人あたり4千円を目処に使用金額分を支給した。



宇宙飛行士の訓練体験（旭川市科学館）



ホップの香りを知る（サッポロビール博物館）

3. 授業から

1) 外部講師による特別授業

今年度も引き続き本学卒業生などを外部講師に招いた特別授業を行なった。内容は、1年生科目の博物館教育論で知床自然財団の荒木敬博氏を招きヒグマトランクキットの解説と体験(11/28)、2年生科目の博物館展示論では美幌博物館の町田善康学芸員により特別展の準備と展示の実演(11/20)、3年生科目の博物館経営論は標津サーモン科学館の市村政樹館長から水族館経営と地元対象の教育事業(12/12)、などそれぞれユニークな内容の授業をいただいた。

2) 車椅子体験と介助実習

昨年に引き続き11月1日(木)に博物館実習として車椅子の自走体験と介助実習をおこなった。場所は広い床が使える、階段やエレベータ、長い廊下といった設備に近い学生会館1階ホールを用いた。指導は、網走市社会福祉協議会の職員2名とボランティア6名の計8名にお願いした。今年の3年生は、小学校や中学校時代に介助体験を経験した者が10名程いたが、彼らにしても車椅子での自走は初めてという学生が多かった。



トランクキットの体験(博物館教育論)
車椅子の自走と介助実習(博物館実習)

4. 農大口ビー展2018

「実験器具—台所から無菌操作まで—」

期間：2018年12月12～16日(5日間)

会場：エコーセンター2000(アトリウム展示室)

主催：東京農業大学学術情報課程(オホーツクキャンパス)

共催：網走市教育委員会

おもな展示資料：農大の実験室から持ち出した細胞操作を観察する双眼顕微鏡、その顕微鏡の観察サンプル(マウスの卵巣と精子)、無菌操作装置「クリーンベンチ」と寒天培地や関連ガラス機器、0.001gまで表示される高精度質量計「電子てんびん」と豆を用いた計量体験、学生が実際に試した台所でできる手軽な化学実験の機具と試薬とその映像(ミョウバン結晶づくり、カルメ焼き、紫キャベツの酸性アルカリ性色彩変化、比重による食用油の分離)、海や湖の野外調査で用いるプランクトンネットなど。

一般市民が学生用の実験器具に触れる貴重な機会を提供できたと考える。



上：展示会場の全景
下：1年生の見学会

*北海道胆振東部地震 2018.9.6 午前3時8分頃

札幌見学では提出課題として見学館に関するリーフレットや報告書を作成していたが、今年は見学欠席者も含め「地震レポート」に変更した。提出された29人の回答をかいつまんで紹介する。課題は下に示した。

・停電体験：車がハイビームで走っていて歩きづらかった。普段話さない人とも話し、しりとりなどのゲームを皆で遊んだため、合宿みたいで楽しかった。トイレの水が流れずたいへんだった。折り紙をして過ごした。部屋が12階で階段の上り下りに苦労した。チンダル現象を利用した簡易ランタンをつくった。ラジオを一緒に聴いた。テレビ局でテレビのニュースを見て状況を把握した。

・良かった情報：NHKのニュースが道内の状況を整理して伝えていた。LINEのタイムライン機能で一斉に安否報告できた。遠くの母親がニュースの情報をメールで送ってきてくれたこと。友人親戚からの励ましのメッセージ。

・迷惑だった情報：知人からの気づかいのライン。安否確認の連絡。バッテリーが心配になった。充電場所や断水、長期停電のデマ情報。本州の知人からの興味本位の情報収集。

回答からは、情報の正確さや災害サービス内容はLINEが高く評価されていたこと、善意の安否確認が災害当事者には迷惑な体験だったこと、予備バッテリーを持って来た学生が29人中15人と半数に及んだことがわかった。



前日には台風被害が目立っていた（サッポロビール博物館）



上：北海道新聞本社ビルの掲示に見入る人たち
中：停電のため信号機の大半が消えた札幌市内（北7東3）
下：電源復旧を支援する東北電力の車両。新潟県の各地から来ていた（道央道砂川サービスエリア）

博物館実習2018地震レポート		
学科：	学籍番号：	氏名 全員提出する
1. 地震		
1) 遭遇場所 名称と住所（網走市は不要）の両方を記載 自宅（潮見10丁目）		
2) 何をしていたか		
3) 揺れの記憶や印象 ゆれ方、持続時間、とっさに思ったこと、その他の印象		
4) 9月6日の行動 家に居たのか、出かけたのか、その他		
2. 停電		
1) 停電のタイミング 地震の何分後だったか		
2) 通電の日時 通電の瞬間に居合わせたのか、スイッチを入れてみたら通電していたのか、はっきり覚えていない場合はいつ頃電気が使えるようになったのか、わかるようにする		
3) 停電体験 停電時の過ごし方、困ったこと、案外大丈夫だったこと、たいへんだったこと		
3. 電話		
1) キャリア		
2) バッテリー バッテリーが切れた日時、ずっと使えた人はその手段方法		
3) 通話と通信 通話や通信ができなくなった人はその日時と復旧の日時、ずっと使えていた人はその旨記載		
4) 良かった情報やメッセージ 情報はウェブ情報やSNSの公開情報、メッセージは個人宛の通知や通信		
5) 迷惑だった情報やメッセージ 4) におなじ		
4. 食料品 1-4を裏面まで使用してよい		
1) 地震後最初に購入した食料品名と購入店名 食料品は一般名、店舗は固有名（店舗名）		
2) 普段の食料品の購入店舗名と営業休止状況		
3) その再開状況や商品の状態の経過 意外な発見なども		
5. 写真（裏面）提出データをそのまま展示や公開することはない 伝えたい写真を貼る。枚数自由。顔やナンバーのぼかし不要		
--（以上は見本）--		
課題：9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震について展示や公開を前提とした体験レポートを作成する		
様式：A4判両面、フォントはMS明朝またはMSP明朝で10pt-11pt、適切な余白行間レイアウトであること		
内容：黒色部分は見本どおりに記載、青色部分は適切な言葉や文章にする。独自情報が望ましい。		
提出方法：ワードで作成し、.docx ファイルをメール添付で提出する。		
宛先アドレス：y3uni@nodai.ac.jp		
件名：地震レポート学籍番号氏名（提出ファイル名も同一）		
ファイルサイズ：5MB未満のこ＝写真のサイズ調整が必要		

5. 館園実習

本年度の実習生は20館28名(3年生24名、4年生4名)、受入先は北海道6館11名、山形県1館1名、宮城県1館2名、栃木県1館1名、千葉県2館3名、埼玉県2館2名、東京都1館1名、長野県1館2名、富山県1館1名、三重県1館1名、和歌山県1館1名、長崎県2館2名であった。今年には北海道での実習者が7館12名と目立った。内訳は生体施設13館16名(植物系1館2名、動物系5館6名・水族系7館8名)では動物園が例年より多く、動物系は全員生物生産学科、水族系はいずれもアクアバイオ学科の学生と傾向がはっきり分かれていた。非生体施設は7館12名と比較的多かった。

お忙しいなか、実習生を受け入れてくださった館園にお礼申し上げます。

○生物生産学科 3年生8名、4年生4名、計12名

42216000	女子学生	白馬五竜高山植物園	2018.8.6-16
42216000	女子学生	長崎バイオパーク	2018.8.9-19
42216000	男子学生	北海道立北方民族博物館	2019.1.29-2.3
42216000	女子学生	さいたま緑の森博物館	2018.8.17-18, 21-23, 29
42216000	女子学生	埼玉県こども動物自然公園	2018.9.13-26
42216000	女子学生	上野動物園	2018.9.17-30
42216000	女子学生	市川市動植物園	2018.10.9-18
42216000	男子学生	北海道立北方民族博物館	2019.1.29-2.3
42216000	女子学生	市川市動植物園	2018.12.3-13
42216000	女子学生	北海道立北方民族博物館	2019.1.29-2.3
42216000	男子学生	食と農の博物館	2018.10.16-17, 19-21, 23-26, 28
42216000	女子学生	釧路市動物園	2018.8.22-30

○アクアバイオ学科 3年生14名

42316000	男子学生	市立室蘭水族館	2018.9.1-4, 8-13
42316000	女子学生	足寄動物化石博物館	2018.8.10-20
42316000	女子学生	仙台うみの杜水族館	2018.8.22-9.1
42316000	女子学生	美幌博物館	2018.8.22-29
42316000	男子学生	美幌博物館	2018.8.22-29
42316000	男子学生	串本海中公園	2018.8.21-30
42316000	女子学生	美幌博物館	2018.8.22-29
42316000	男子学生	魚津水族館	2018.8.11-19
42316000	女子学生	美幌博物館	2018.8.22-29
42316000	男子学生	なかがわ水遊園	2018.8.17-30
42316000	女子学生	鴨川シーワールド	2018.8.17-9.3
42316000	女子学生	厚岸町海事記念館	2018.8.21-31
42316000	男子学生	佐世保パールシー海きらら	2018.8.19-29
42316000	女子学生	仙台うみの杜水族館	2018.8.22-9.1

○食品香粧学科 3年生1名

42416000	女子学生	白馬五竜高山植物園	2018.9.2-12
----------	------	-----------	-------------

○地域産業経営学科 3年生1名

42516000	男子学生	朝日町エコミュージアム	2018.8.24-9.2
----------	------	-------------	---------------

6. 年間カレンダー

2018年

- 4月11日 受講希望者向け説明会
4月25日 教職・学術情報課程委員会（全体会議）
5月14日 受講学生決定
5月15・16日 網走市立郷土博物館丸万収蔵庫見学（3年生）
5月22日 エコーセンター2000および網走市立美術館見学（2年生）
5月22・23日 北海道立北方民族博物館見学（1年生）
5月29・30日 網走市立郷土博物館・モヨロ貝塚館見学（1年生）
6月5・6日 博物館網走監獄見学（1年生）
6月9日 釧路市動物園および釧路市立博物館見学（2年生）
6月15日 美幌博物館見学（3年生）
6月16日 全国大学博物館学講座協議会全国大会に参加（長崎国際大学）
9月5～7日 札幌館園見学旅行（3年生）
10月27日 全国大学博物館学講座協議会東日本部会に参加（東京農業大学世田谷キャンパス）
11月1日 車椅子介助体験実習（網走市社会福祉協議会およびボランティアの指導）
11月17日 足寄動物化石博物館見学：展示室解説および化石レプリカ作成（2年生）
11月20日 特別授業1：美幌博物館・町田善康学芸員 2年生「博物館展示論」
11月21日 オホーツク流水館見学（3年生）
11月28日 特別授業2：知床財団・荒木敬博公園事業係 1年生「博物館教育論」
12月12～16日 農大ロビー展2018「実験器具—台所から無菌操作まで—」会場：エコーセンター2000
12月11・12日 農大ロビー展見学会（2・1年生）
12月12日 特別授業3：標津サーモン科学館・市村政樹館長 3年生「博物館経営論」
- ### 2019年
- 2月14日 教職・学術情報課程委員会（学術情報課程）

7. 博物館などへの採用実績

【新卒者】

- 富士サファリランド（静岡） 生物生産学科2019年3月卒業男子1名 2019年4月予定 正規職員
東北サファリーパーク（福島） アクアバイオ学科2019年3月卒業女子1名 2019年4月予定 正規職員
宇都宮動物園（栃木） アクアバイオ学科2019年3月卒業女子1名 2019年4月予定 正規職員

【既卒者】

- 千葉市動物公園「ふれあい動物の里」（千葉） 生物生産学科2017年3月卒業男子1名 2018年3月 臨時職員
えりも町郷土資料館（北海道） アクアバイオ学科2013年3月卒男子1名 2018年4月 正規職員（学芸員）

【これまでの就職先】 現在在職中あるいは一度でも在籍者がいた施設、臨時職員以上の待遇、アルバイトは除く

オホーツク流水館／美幌博物館／紋別市立博物館／野付半島ネイチャーセンター／釧路市立博物館／札幌市円山動物園／小樽水族館／えりも町郷土資料館／のぼりべつクマ牧場（北海道）、南三陸町自然環境活用センター準備室（宮城県）、さいたま水族館（埼玉県）、多摩六都科学館（東京都）、長岡市寺泊水族博物館／十日町市博物館（新潟県）、富士山こどもの国／富士サファリランド（静岡県）、海遊館（大阪府）、串本海中公園（和歌山県）